

膠原病・リウマチ内科

概要

部長：大村 浩一郎
スタッフ：3名
専攻医：3名

2021年に新しく出来た診療科です。総合内科的視点と科学的視点をもった真の膠原病・リウマチ専門医を育成することを目指しています。もちろんリウマチ学会の教育施設に認定されておりますので、リウマチ専門医取得に支障はありません。熱意あるスタッフ（リウマチ指導医2人とリウマチ専門医1人）と豊富な患者が特徴であり、意欲のある人には臨床研究もできる施設と指導スタッフが揃っています。

特徴

当科の特徴は豊富な症例と充実した指導体制にあります。新設の診療科ではありますが、2022年度に入院した膠原病患者数は全身性エリテマトーデス 13例、血管炎症候群 32例、皮膚筋炎/多発性筋炎 5例、成人スティル病 6例などであり、ほとんどが治療導入目的の入院です。また、スタッフは新設科らしく、やる気に満ちています。「患者さんに優しい世界最高レベルの専門診療を提供する」ことをモットーに全員が日々少しでも成長できるよう頑張っています。小さな世帯でもあり、スタッフから直接、濃厚な指導が受けられることもメリットです。一方、総合内科を含めた他科での研修も推奨しています。

外の病院での研修（1年間）は自分で選ぶことができますが、予定も含めて研修実施協力施設（膠原病・リウマチ関連）には大阪赤十字病院、北野病院、済生会中津病院、大阪公立大学、天理よろづ相談所病院、多摩総合医療センター、道後温泉病院、神戸市立医療センター西市民病院、など実力ある施設が揃っています。

以下、膠原病・リウマチ内科のプログラムについて説明します。

8:00～9:30 病棟カンファ（毎日）、病棟回診（月、木）

9:30～16:30 病棟業務・外来。関節エコー検査（月 or 水の午後）

16:30～17:30 カンファレンス（水：総合内科合同膠原病カンファレンス、木：症例検討会）

月1回 呼吸器内科合同カンファレンス、月1回 整形外科合同カンファレンス

月1回 産科・小児科合同カンファレンス

月 2 回程度 腎生検病理カンファレンス

論文抄読会 火曜日 18:30～19:00

外来は週 1 回、膠原病外来（初診外来を兼ねる）を担当。それ以外に週 1～2 で外来研修（スタッフの外来について研修）を行う。

アカデミックな研修に興味がある人には、さらに多くの機会が与えられています。学会発表は必ずやっただきます。機会に恵まれれば国際学会での発表も可能です。また、やる気と余力のある人は臨床研究や論文執筆をすることもできます。我々独自の実験室も持っており、患者検体を常時保存し、サイトカイン測定や RNA-Seq 解析等も行っています。世界屈指の SLE コホートを立ち上げましたので、今後ますます充実した臨床研究を行うことができます。院内には統計解析をサポートするサービスもあります。

一般目標

膠原病・リウマチ性疾患の専門的知識を習得し、関節リウマチ、全身性エリテマトーデスなどの一般的診療をひとりで自信をもって診療でき、稀少な疾患や病態に対するアプローチの方法を習得する。ステロイドおよび各種免疫抑制薬の使い方に習熟する。免疫抑制下における、日和見感染症の予防法・治療法に習熟する。不明熱に対する的確な鑑別診断をあげ、検査計画をたて、治療を行う。

行動目標

1. リウマチ専門医レベルの膠原病・リウマチ性疾患の知識を習得する
2. 頭から足先まで身体診察を行い、所見を的確にとることができる
3. 関節の診察に習熟する
4. 関節エコーの技術を習得する
5. 膠原病・リウマチ性疾患の分類基準を理解し、使いこなすことができる
6. 不明熱に対する的確に対処することができる
7. ステロイド、免疫抑制療法に精通し、指導することができる
8. 生物学的製剤、JAK 阻害薬に精通し、使い分けることができる
9. 各種ガイドラインや推奨を理解し、使いこなすことができる

専門研修プログラム

神戸市立医療センター中央市民病院内科専門研修プログラムは、当院ホームページをご参照ください。

URL : http://chuo.kcho.jp/recruit/late_resident

見学等問い合わせ先

大村 浩一郎 : koichiro_ohmura@kcho.jp